



第拾卷第二十號

道

尾藤 二洲

道とは自然の則なり。人倫事物すべて皆自然に宛ある可し角あるべしといふ則ありこの則は人の共に由りて行ふ可き者なるゆゑ行路の意にて道とはいへるなり。凡天下の萬事萬物一つとして則なきはなし。大なるものにて云へば父は父の則あり子は子の則あり、君は君の則あり、臣は臣の則あり小き者にていへば視には視の則あり聽には聽の則あり持には持の則あり行には行の則あり近くは一身一家より遠くは四海萬邦に至るまで皆然らざるはなし、都てこれを人道と云ふ。人の禽獸と異なることはこの道あればなり。是れしかしながら天地の自然、吾が性の固有にして人の作り出せるものにあらず、されば天理と云ふなり。